



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R6年度 CS通信No.10 R6.11.28



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 西海小第1学年で郷土カルタの練習(11/18)



西海小学校で毎年12月に行われている全校でのカルタ大会で詠み手を担当する学校支援ボランティアの北嶋さんを招いて、練習をしました。

まず、詠み手が「詠みます。」と言うと、子どもたちは、「はい。」と返事をします。

次に、詠み手が、カルタを詠むと、子どもたちは、「はい。」と言ってカルタを取り、取ったあとは、カルタの配列を直します。

その時、「直します。」「ありがとうございます。」と合図したり、お礼を言ったりします。

この1年生にとって、北嶋さんが詠み手をするのは今日が初めてで、最初は、声を出すタイミングが合わなかったり、元気がなかったりしましたが、慣れてくると、タイミング良く、大きな声を出せるようになりました。

この日の練習の前に5回程、学級担任が詠み手で練習をしていたそうですが、上の句を詠んだだけでカルタを取る子もいて、好きな札は既に暗記していることがわかりました。本番が楽しみです。

## 西海小第5学年でお米の収穫祭(11/19)



お米の収穫祭というのは、田植えから稲刈りまで、たくさんの学校支援ボランティアにお世話になったので、そのお礼として、できたお米でおにぎりを作ったり、家庭科の調理実習として、味噌汁を作ったりして御馳走しようというものです。

児童5名は、料理担当の学校支援ボランティアからごはんの炊き方や味噌汁の作り方の説明を聞くと、早速御馳走の準備に取り掛かりました。

児童一人一人が一つのテーブルで、味噌汁の具を切ったり、鍋に材料を入れたりしたので、一人一人の活動がたくさんあり、大忙しでした。

昼になると、西海小担当の地域学校協働活動推進員 工藤律子さんの声かけで集まった学校支援ボランティアの皆さんが、次々と来校しました。

子どもたちの心のこもった御馳走に、学校支援ボランティアの皆さんは、感激の声をあげ、喜んで食べていました。

## 舞戸小第1学年でリースの土台作り(11/22)



この活動には、舞戸小担当の地域学校協働活動推進員 渋谷貴子さんの声かけで6人の学校支援ボランティアが集まりました。

学校支援ボランティアの皆さんは、グループに一人ずつ入り、児童の活動を支援しました。

リースの土台は、さつまいも等の乾いたくきを輪にして、ビニールひもで縛って作ります。

上手く縛ることができない子には、そばに寄り添い、ビニールひもの縛り方を教えていました。

児童の活動に学校支援ボランティアが入ることによって、学級担任は指導に専念でき、活動がスムーズに進みます。子どもたちは、安心して活動を進めることができ、大変効果的です。